

令和6年第4回議会活性化特別委員会会議録

1. 日 時 令和6年7月25日(木)
2. 場 所 白井市役所本庁舎4階 大委員会室
3. 議 題 (1) 議会改革に係る検討事項について
4. 出席委員 長谷川 則 夫 委 員 長・小田川 敦 子 副 委 員 長
秋 谷 公 臣 委 員・柴 田 圭 子 委 員
古 澤 由 紀 子 委 員・石 井 恵 子 委 員
伊 藤 仁 委 員・田 中 和 八 委 員
広 沢 修 司 委 員・平 田 新 子 委 員
徳 本 光 香 委 員・荒 井 靖 行 委 員
石 原 淑 行 委 員・久 保 田 江 美 委 員
石 田 里 美 委 員・武 藤 美 砂 子 委 員
根 本 敦 子 委 員
岩 田 典 之 議 長
5. 欠席委員 なし
6. 会議の経過 別紙のとおり
7. 議会事務局 局 長 松 岡 正 純
主 査 補 會 卓 也
主 事 金 子 直 史

委員長の挨拶

○松岡正純議会議務局長 定刻となりましたので始めさせていただきます。

会議に先立ちまして、長谷川委員長より御挨拶をお願いいたします。

○長谷川則夫委員長 皆さん、こんにちは。昨日は突然の雷雨でかなり風が吹きましたね。白井はそんなに被害はなかったようですが、あちこちで大きな被害が出たようでございます。特にゲリラ豪雨に皆さんも注意していただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

○松岡正純議会議務局長 ありがとうございます。

委員会会議につき、議事等につきましては長谷川委員長をお願いいたします。

会議の経過

開会 午後 1時30分

○長谷川則夫委員長 ただいまの出席は17名です。委員会条例第16条の規定により定足数に達しております。これより令和6年第4回議会活性化特別委員会を開会いたします。

本日の会議は、お手元に配付の日程表のとおりでございます。

(1) 議会改革に係る検討事項について

○長谷川則夫委員長 日程第1、議会改革に係る検討事項についてを議題とします。

前回に引き続き協議を進めたいと思います。まず、皆様のタブレットのほうにプロジェクトチームのメンバー参入状況というのを入れてありますので、そちらを御覧ください。よろしいでしょうか。

7月24日までに出了されましたプロジェクトチームのメンバー構成、議事録のICT化は、私、平田委員、徳本委員、根本委員、録画の字幕に関しては、小田川副委員長、柴田委員、徳本委員、石田委員、久保田委員となっております。1名ほど重複していますので、会議の進め方に関してそれぞれのプロジェクトチームの中で話し合いを持っていただいで進めていただきたいと思ひます。

そこで、前回は申し上げたとおり、スケジュールのほうの確認をさせていただきたいと思ひます。中間報告をしてくださいという御意見がございましたので、今7月でございますので、ある程度めどというのを12月末までにしたいと考えています。その中で、中間報告がいつになるかは分かりませんが、ある程度議会の中、全員協議会の中で行っていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

この委員会のほうの最終が3月末までとなっておりますので、その末までの中でやはり全員協議会の中で報告をして、最終的には全員協議会の中で諮って決めていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

それで、プロジェクトチームのほうに入っていない1項目、タブレットの使い方については、皆さんから御意見ございましたので、私、委員長と小田川副委員長でアンケートを作成するという方向で今進めておりますので、御報告をしておきます。

以上で、何かこれについて質問がある方はいらっしゃいますか。

小田川副委員長。

○小田川敦子副委員長 ありがとうございます。中間報告が12月末までの全協が開催されるあたりでどうかというようなイメージでしたけれども、回数は何回ぐらいになりますか。当初1回ぐらいは中間報告が必要だろうという話でしたけれども、前回の会議で、共通認識を深めるために中間報告の回数を増やして、いろいろ説明する場面を増やしたらいいんじゃないかみたいな、そんな提案もありましたので、当初の1回よりも回数を増やすのかなと前回の会議で私は思ったんです。その辺りいかがでしょうか。

○長谷川則夫委員長 今、中間報告を増やしたらどうかという御意見が出ましたけれども、やるとしたら9月議会と12月、11月議会ですか、ぐらいいかないんですけれども、今度の9月に関しては決算もありますので、その中でできるかというところもあるんですが、ある程度の報告はしていただきたいと思っていますけれども、そこまで至らない、中間報告まで至らないという可能性もあるんですが、どうでしょう。

平田委員。

○平田新子委員 まず私も1つお聞きしたいのは、この2つのプロジェクトチームが同じ日に報告をしなきゃいけないかどうかということが1つと、それから、前回というかずつと前に、報酬と定数をというときは経過報告としての報告をしていたんですけれども、経過報告じゃなくて調べましたらこうでしたということで、経過を言わなくていいんだったら1回でいいかなと思うんですけれども、その辺はどうなのか伺いたいと思います。

○長谷川則夫委員長 前回の報酬等審議会の中では経過報告をしていましたよね。それを踏まえると、やはりしていただきたいと私は考えています。だから、できれば、これは私の考えですけれども、同じ日にそれぞれのプロジェクトチームが中間報告をしていただきたいなと思います。それは、でもプロジェクトチームのほうで同じ日にやるのは難しいよと言われてればまた別の日を考えますけれども、ただ日程的に結構厳しいので、できるだけ同じ日にしていただきたいと思っていますがいかがでしょうか。

小田川副委員長。

○小田川敦子副委員長 同日に2つのプロジェクトを報告するというのは、私は賛成です。別々にすると2回集まるということにもなりますので、それだったら経過報告でも中間報告でも、そういったタイミングは両方のプロジェクトを同じ日にして、それで足りなければもう1回また報告をするという段取りにも進めますので、報告する日は一緒というのは賛成です。

○長谷川則夫委員長 ほかに御意見ございますか。報告に関して、最低2回ぐらいはやったほうがいいんじゃないかという今御意見が出ているんですけども、いかがでしょうか。

日程のほうは今後詰めなきゃいけないところがありますけれども、全員協議会がある前に、ごめんなさい、この議会活性化委員会の中で報告をしていただくようになりますから。

徳本委員。

○徳本光香委員 私はチームのほうに入っている側なので、むしろ入っていない人がどのくらい報告してくれたら納得して進めやすいかという意見があったほうがいいのかと思います。2回ぐらいだったら別にそこで成果が出てなくても現時点でここまで調べていますと報告するだけなので、報告は2回でもいいと思っていますが。

○長谷川則夫委員長 ほかに御意見ございますか。

(「議長が手を挙げています」と言う者あり)

○長谷川則夫委員長 議長は最後にお聞きしようと思っているんですけども。

広沢委員。

○広沢修司委員 まだ始まってもないので、内容がちょっと、進捗がどういうふうに進めていくかということも含めてまだ決まっていないと思うので、プロジェクトチームの中でタイミング的に報告を入れたほうがいいのかという感覚を持ったときに報告をいただけたらいいのかなと思います。特に回数とか決めることをしなくても、チームの中でしかるべきタイミングでしていただければいいかなと思います。

○長谷川則夫委員長 今、広沢委員から適宜というお話が出ましたけれども。

平田委員。

○平田新子委員 広沢委員がおっしゃったように、これから調べるわけだから、調べてみないとどれだけのものがどんなふうな形で出てくるか分かりませんし、例えば皆様にタブレットを通じて資料を先渡ししておいて、読んでおいてくださいとって説明したりすれば1回で済むかなと思うし、議論じゃなくて説明だけなので、基本1回で、それでも延長が必要だったら2回にするということで、回数を今決めなくてもいいような気がします。

○長谷川則夫委員長 回数を決めないで報告をするという御意見ですけども。

伊藤委員。

○伊藤 仁委員 この2つのことなんですけれども、これゆくゆくはどうせやらなければいけないような項目だと思うんです。これをどういった順番でどういった予算措置で進めていくかというようなことをきっと協議されていくんでしょうから、来年度の予算で間に合わせるのであれば11月頃までにある程度の答えを出してきて要望するよというようなことをやっておかないと次年度の予算には反映されないでしょうし、こういったものを補正予算でやっていくというのは難しいと思うんです、よほどの緊急性がない限り。ということになると、当初予算で入れていかなきゃいけないことを考え

ると、どういった進め方をしていけばいいのかということ考えたほうがいいかなと私は思うんですけれども。

以上です。

○長谷川則夫委員長 伊藤委員のおっしゃるのはよく分かるんですけれども、結論を3月までということになっていますので、来年度に間に合わせるとなるともう既に結論が出ていなければいけない状態になりますので、結構それは難しいと思うんですね。だから、予算のことは当然ついて回るんでしょうけれども、委員会としての結論は早めのほうがいいんでしょうけれども、なかなか予算の編成時期には間に合わないかなと思っていますけれども。

平田委員。

○平田新子委員 これはプロジェクトチームの中で協議していけばいいかなとは思っていたんですけれども、私は次年度予算には無理だと最初から思っていて、再来年の予算に入れるためにということのお話で進めるかなと勝手に思っていたんです。早ければ早いほうがいいのかもしれませんが。

というのは、議会費の中で今録音を文字起こしに出していたりとか、ほかのことの予算にも関連してきたりするので、ここだけの話合いでやりましょうとってぱっと事務局が動けるかというところではないと思うので。

一応皆さんにめどとして決めておいていただきたいと思うのは、今年度の予算編成に間に合わせるか次年度予算か、その辺の大まかな時期というのは皆さんの希望として決めておいていただいたほうがこっちも動きやすいかなと思います。今から調べて今年の予算に間に合わせようと思ったら、もう来月にはまとめなきゃいけないみたいな話になってきちゃいますので、よろしくお願いします。

○長谷川則夫委員長 ということで、予算編成と絡め合わせると複雑な話になりますので、この委員会の中で調査研究を行う、最終的には委員会としての結論は出しますけれども、それを議長に提出して、もう1回全員協議会を開いていただいてその中で決まるという手順ですから、そのところは皆さん御理解いただきたいと思います。

では、まとめさせていただきますけれども、中間報告に関しては回数を決めないで、ある程度の時期になったら報告をできるだけ多くしていただくということでよろしいですか。中間報告に関しては回数を決めませんが、皆さんの意思統一を図るためにできるだけ報告をしていただくと。できれば2つのプロジェクトチームは同じ日にこの委員会において報告をしていただくという考え方になりますけれども、よろしいでしょうか。御意見ございますか。特に参加されない方の御意見が欲しいんですけれども。

石原委員。

○石原淑行委員 今、委員長がおっしゃられたとおり、回数とかにはこだわらず途中の報告をいただいて、それでこちらのそこまで進んでいるんだという理解が得られると思いますので、その後、決まっていくのかなと思います。

○長谷川則夫委員長 分かりました。ありがとうございます。

そのほかに御意見ございませんか。

○武藤美砂子委員 武藤です。

○長谷川則夫委員長 ちょっと遠いんでごめんなさい。武藤委員。

○武藤美砂子委員 私も、先ほど、回数を決めないで説明していただければと思います。大変ありがとうございます。

○長谷川則夫委員長 ありがとうございます。

それでは、先ほど申し上げたように、それぞれのチームで協議をしていただいて、途中の結果、調査中でも構いませんので、ある程度のところまで進んだらこの議会活性化特別委員会の中で報告をしていただくと。その日程については、それぞれのプロジェクトチームと私、委員長との協議で進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上で今日の議題については終わります。

○小田川敦子副委員長 すみません、プロジェクトチームのメンバー。

○徳本光香委員 報告についてはもう意見はないけれども、ほかにはあります。

○長谷川則夫委員長 プロジェクトチーム……。

○小田川敦子副委員長 のチームメンバーの決定。

○長谷川則夫委員長 結成については宣言しておいたほうがいいですか。先ほど申し上げた、名前は挙げさせていただきましたけれども、このメンバーで結成ということになります。

○小田川敦子副委員長 それで、議事録のほうが最低5人ぐらいからということで募集したところ4人しか集まっていないので、ほかの5人集まっているところももっと増えてもいいので、一応この場で最終的に意思確認して、できれば議事録のほうはもう1人どなたか入っていただけないかななんて思っているんですが、委員長、お願いします。

○長谷川則夫委員長 分かりました。では、すみません、先ほどプロジェクトチームのメンバー構成を発表しましたがけれども、私のほうで5人ぐらいと申し上げましたので、議事録ICT化のほうにどなたか入っていただく、先週の金曜日までということで申し上げていましたけれども、それ以降、御連絡がなかったのでこういう状態になっています。

現状で入ってもいいよという方はいらっしゃいますか。いらっしゃらないですか。であれば、このメンバーで決定をさせていただきますけれどもよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○長谷川則夫委員長 では、プロジェクトチームに関しては、先ほど申し上げた、議事録ICT化のほうは、私、平田委員、徳本委員、根本委員、録画字幕に関しては小田川副委員長、柴田委員、徳本委員、石田委員、久保田委員で決定をさせていただきます。よろしく願いいたします。

以上をもちまして本日の会議は終了いたします。ごめんなさい、終了いたしますの前に、議長から

何かございますか。

○岩田典之議長 さっき私が手を挙げたのは、委員長のほうから、このことについて中間報告を全員協議会で諮ると言ったので、それを2回言ったのでそのことと、それから、今、小田川副委員長が話されましたように、プロジェクトチームの4人とされるメンバーの確認をしたかった。その2点で手を挙げただけけれども、今、話を聞いたらそれはもう分かりましたので、これで決定したということで、そのほかにはありません。

以上です。

○長谷川則夫委員長 ありがとうございます。要は私の考えですけれども、プロジェクトチームでの特別委員会の中で中間報告をしていただくという考えでいますけれども、必要であれば全員協議会のほうで私のほうからまた議長に報告をするという考えていますので、よろしく願いいたします。

事務局から何かございますか。

○松岡正純議会事務局長 特にございません。

○長谷川則夫委員長 それでは、ないようですので、以上で本日の日程は全部終了いたしました。

よって議会活性化特別委員会を閉会いたします。

慎重なる御審議を賜りまして誠にありがとうございました。

閉会 午後 1時48分

以上、会議の顛末を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和6年 月 日

白井市議会活性化特別委員会委員長